

# 2023 福祉科デイリーニュース no.05(2023.5.1)

## ■ 在校生がボランティアで活躍中!!

・こんにちは！福祉科ホームページ担当教員の下倉（シモクラ）です！

川崎高校は、4/28(金)に体育祭が無事に行われ、次は神無祭（文化祭）に向けて活動が始まっているところです♪

・さて…！本校福祉科2年生の木村さんが、外部のボランティア先で活躍しています。

実は、木村さんだけでなく、多くの在校生が、学校外のボランティア先に出向き、活躍しています☆

・では、木村さんのボランティア紹介文をどうぞ！

私が現在行っている NPO 法人「アンリーシュ」のボランティア活動について紹介します。

「アンリーシュ」とは「医療的ケア児」という人工呼吸器や経管栄養などの医療的ケアを日常的に必要としている子供たちのことを支援している団体です。

私がアンリーシュに出会ったきっかけは NICU の看護師さんから手紙を頂いたことでした。手紙の中で「お鼻のチューブ交換を頑張っていたんだよ」という言葉に興味を持ち、調べたところ「アンリーシュ」の動画が出てきて「医療的ケア児」という存在を知りました。アンリーシュとの出会いをきっかけに医療的ケア児に関わる仕事に就きたいと思うようになり介護福祉士の国家試験の受験資格を得られるだけでなく、医療的ケアの授業を受ける事ができる本校の福祉科に入学しました。将来の夢や福祉科に入るきっかけとなったアンリーシュの力になりたいと思い、ボランティアに参加しました。

医療的ケア児は、医療的ケアを行えるのが看護師や研修を受けた一部の介護職員などと限りがあるという理由から希望する学校や保育園などに通えないため、家族の社会復帰が難しいなど多くの課題を抱えています。

アンリーシュではこのような課題を解決するために医療的ケア児の情報を配信したり、就労支援を行うなど医療的ケア児とご家族を支援する活動を行っています。これらの活動を行うためにはお金が必要です。月々1,000 円から入会できるアンリーシュパートナーズ(継続寄付者)となってアンリーシュの活動を応援しませんか。

一年間、1000円の寄付を行うと医療的ケア児のご家族に情報を配信するメディア運営ができます。入会すると医療的ケア児とご家族を支援できるだけでなく、よりリアルな当事者ご家族の情報や活動の裏側を発信しているサポーターズ限定の Facebook やメールマガジンなどを通じて医療的ケア児のことを学ぶこともできます。医療的ケア児と私達、共に自分らしく生きられる社会を目指して、医療的ケア児と社会をつなぐアンリーシュの活動を寄付で応援してください。



NPO 法人「アンリーシュ」の HP はコチラから！ →



←「福祉科紹介動画」はコチラから！ 「中学生体験授業」の申込は、今後 HP にアップ予定です！



## 共に自分らしく 生きられる社会へ

自宅で人工呼吸器や胃ろうなどの  
医療機器を使いながら生活している子どもたち、  
医療的ケア児を知っていますか？

「よく知らない」たったそれだけのことで社会から受け入れられず当たり前の生活を  
過ごすことが困難な子どもたちと家族がいます。



### 情報不足

医療的ケア児は日本に  
約2万人しかおらず  
医療的ケア児の子育てに  
関する情報は  
ほとんどありません。  
そのためご家族は大きな不安と  
戸惑いに襲われます。



### 孤独感

症状が不安定で  
預け先が少ないことから  
在宅生活において  
24時間緊張が続き  
外部とのつながりも  
少なく孤独感を感じます。



### 経済的不安

医療的ケアがある子どもを  
受け入れ可能な就園、就学先は  
まだ少なく、24時間付きっきりの  
看護が必要などの理由から  
家族の社会復帰には  
大きな壁があります。